

入場料収入に依存する中国観光地事情

クレア北京事務所

日本の象徴、世界文化遺産に登録された富士山では、入山料として一人当たり基本 1,000 円とする保全協力金制度が始まりましたが、中国では、世界遺産に限らず、観光地めぐりにかなりの出費を覚悟しておくことが必要です。中国国内の観光地の入場料問題は、旅行シーズンのたびにメディアを賑わす、注目度の高い話題となっています。

A の多さで観光地をランク付け

中国に一度でもいらっしゃったことのある方は、故宮・万里の長城から、旅行ガイドブックに少しだけ紹介されている観光地まで、観光地の入口で AAAAA あるいは AAAA といった表示があることに気づかれたことがあるかもしれません。これは、全国 A 級旅遊景区に指定されている観光地であることを示しています。全国 A 級旅遊景区は 2003 年に国家旅遊局が定めた観光地規定で、観光資源や交通の便、施設の管理状況等（余談ですが、郵便局の設置でポイントが付与されるためか、観光地の中に郵便コーナーをしばしば見かけることがあります）により、最上級の 5A から 1A までの 5 段階に分類されています。2012 年現在、全国に 2 万近くあると言われる観光地のうち、約 6,000 もの施設が全国 A 級旅遊景区に指定されており、うち 5A 級旅遊景区は先述の故宮や万里の長城をはじめ 147 か所あります。



全国 A 級旅遊景区を示す看板。なお、5A 級旅遊景区をすべて回ると入場料のみで 16,000 元（約 26 万円）近く必要。



4A 級旅遊景区・西江千戸苗寨は入場料 100 元だが、数多くの地元住民が演出する伝統的舞踊ショーを鑑賞できる。

国内物価に対して高額な有名観光地の入場料

中国社会科学院旅遊研究中心の報告によると、5A 級旅遊景区の平均入場料は 109 元（約 1,800 円）、4A 級は 56 元（約 950 円）となっており、海外の観光地の入場料や中国国内の物価を勘案すると高額だとの指摘があります。最も高額な入場料を徴収する観

光地は杭州宋城旅遊景区（4A 級）で 280 元（約 4,500 円）となっています。また、国内のインフレを考慮してか、5A 級旅遊景区の 2 割強はこの 5 年間で入場料を値上げしており、うち 16 元～30 元程度の値上げ幅が最も多くなっています。

5A 級旅遊景区の平均入場料は 109 元（約 1,800 円）であると紹介しましたが、この金額は中国の一般的市民にとってかなりの出費です。5A 級旅遊景区を 1 か所見学するために、都市住民の月収の約 20 分の 1 が必要となる計算です。5A 級旅遊景区は人文・自然資源が豊かな名勝ばかりであり、準公共物といって差し支えないと思われませんが、観光客はもとより、地元住民も簡単には鑑賞できない場所となっているとの指摘があります。

有識者の反論と今後の方向性

中国旅遊研究院は 2013 年中国旅遊景区發展報告において、「わが国における經濟發展水準と政府理念から、観光地に対する財政投入は限られている。そのため、観光地の維持は困難であり、加えて寄付等が少ないため、入場料が観光地の主要にして唯一の収入資源となっている」と入場料収入依存の甚だしさを認めています。一方で、有識者はメディアが問題点を誇張して報道していると指摘しています。すなわち、無料開放されている観光地も多く存在し、また、繁忙期と閑散期の価格差が大きいにも関わらず、繁忙期に当たる労働節や国慶節など中国の大型休暇に報道が多くなされることから、価格調整のメカニズムが無視されている、といった反論をしています。

入場料価格問題の今後の方向ですが、昨年度施行された旅遊法に期待する向きがあります。旅遊法には観光地に関する規定があり、公益性のある公園・博物館・記念館等は少しずつ無料開放していくべきであるとの規定や、入場料を引き上げる場合は専門家等の意見を聞いた上で、半年前にその旨を公布しなければならないとの規定があり、こうした規定に沿っていく限りでは、無料化となる観光地の増加、およびインフレがさらに進行する中での入場料の据え置きが主流となってくる可能性が高いと思われます。とはいえ、現状を見てみると、大型休暇を中心に、有名観光地は、観光客による「人の海」が形成されることが常態化しています。無料化や入場料の減免は、観光資源保全の側面でマイナスの効果をもたらしかねないことから、入場者数が抑制される入場料の徴収は、現段階では必要なのかもしれません。

(西平所長補佐 山梨県派遣)